

健康づくりをお手伝い

市健康推進連絡協議会総会

忍の里プラ
 ▲新たな推進員に市長が委嘱状を交付
 14日、市健康推進連絡協議会の平成21年度定期総会が開催され、本年度の活動がスタートしました。



総会には中嶋市長も出席、各地域で食育を中心とした市民の健康づくりに活躍いただいている健康推進員の皆さんに感謝しあげました。

また、総会に先立ち、新たに推進員として就任いただく方への委嘱状交付式も行われ、市長から委嘱状が手渡されました。新しく58名が加わり、市内の健康推進員は490名となりました。

健康づくりへの関心が高まるなか、推進員の皆さんの活動にさらなる期待が寄せられます。

キャラバンカーに絵本を載せて

～全国訪問おはなし隊巡回～

夢

あふれるキャラバンカーに絵本を載せておはなしを届ける「本とあそぼう全国訪問おはなし隊」が4月21日から23日にかけて市内の保育園と幼稚園を訪れました。

550冊もの絵本を積んだキャラバンカーは、中が図書室のようになっており、子どもたちが好きな本を選び、読むことができます。

21日午前には、土山にこの園に来園キャラバンカー内での自由閲覧のほか、遊戯室では長澤隊長や地域のボランティアによる紙芝居や絵本の読み聞かせが行われ、園児たちはたくさん絵本に親しみました。



▲中では絵本を読むこともできるキャラバンカー

人権擁護委員が出前講座

～綾野小学校～

人

権擁護委員による出前講座「人権教室」が4月21日、綾野小学校で開催され、4年生の児童が人権について学びました。

この講座は、法務局甲賀支局と甲賀人権擁護委員協議会が啓発活動の一環として開催しているもので、この日は、水口地域の人権擁護委員4名が先生となりました。

身近な学校でのいじめを取り上げた啓発ビデオを鑑賞した児童らは、感想を発表。人権擁護委員から「たった一つの命を大切にすること、そしてみんなが仲良くすることが人権です」と教わりました。



▲人権擁護委員と児童がともに学んだ人権教室

創立50周年を祝う

～水口町郷土史会記念総会～

ふ

るさと水口を思う気持ちを大切にしよう
 と昭和34年に設立された水口町郷土史会が今年で50周年を迎え、4月18日には、記念総会が行われました。

設立時には会員数もわずか30数名だった同会ですが、今では300名を超え、「水口の歴史特別講座」や会誌の発行など、年間を通じて水口の歴史をひもとく活動が展開されています。

総会には、中嶋市長も出席、先人に学びながら郷土を守り育てる活動に感謝と今後の活躍をお願いしました。

同会では、今月、50周年の記念冊子を発行される予定で、50年をひとつの区切りとしながら、今後も郷土水口の研究を進められます。



▲50周年を記念し、これまで尽力された方へ感謝状を授与

地域の歴史・伝統を語り継ぐ

～信楽町郷土史会が調査書発刊～

こ

のほど信楽町郷土史会が、信楽地域の神社や寺院、地蔵堂などの由緒などを記録した調査書「しがらぎの神社・寺院」を発刊されました。

調査書は、平成17年から4年かけて資料収集や編集作業が進められ、29神社と19寺院などが75ページに渡って紹介されています。



▲発刊された調査書

発刊部数は、300部で信楽地域の小・中学校と市内の図書館、県立図書館や関係機関に届けられました。

会場に広がるお茶の香り

～茶業指導所参観デー～

県

農業技術振興センター茶業指導所で4月29日、施設を開放する参観デーが開催されました。

この催しは、茶業指導所の研究内容を広く知らせ、近江の茶に関心をもってもらい、茶の消費拡大につなげようと毎年この時期に開催されています。

新茶の手摘みや製茶体験、手もみ製茶の実演、お茶料理の試食・試飲などお茶に関するさまざまなコーナーが設けられ、会場いっぱいにお茶の香りが広がっていました。

また、スランプレーヤー押し花教室などもが楽しめられ、催しもあり、家族みんなでお茶に親しむ1日となりました。



▲新茶の手摘みを体験する皆さん